

教科名	芸術	単位数	2単位	担当者	村上 奈菜
科目名	工芸 I	年次	1年次		
使用教科書 副教材等	工芸 I				
1 学習の到達目標 (育成すべき資質・能力)					
<ul style="list-style-type: none"> ・用途を目的にした「ものづくり」の楽しさや喜びを体得することができる。 ・用途や機能および製作のための発想力、構想力を養うことができる。 ・制作を通して技能や計画性を身につけ表現と想像能力を伸ばすことができる。 ・「ものづくり」を通して、もののよさやうつくしさを知り、理解することができる。 					
2 学習の評価 (評価規準と評価方法)					
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	工芸作品などの表現の工夫や工芸の伝統と文化を幅広く理解し、創造的な工芸の制作をするために必要な技能を身につけ、表現方法を工夫して表すことができる。	感性や想像力を働かせて、心豊かな発想をし、身近な生活や社会的な視点から心豊かな発想をし、よさや美しさなどを考え制作の構想を練ることができる。	工芸の創造活動の喜びを味わい、身近な生活及び社会における工芸や工芸の伝統と文化に関心をもち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組むことができる。		
主 た る 評 価 方 法	デザインシート点検 作品の評価 (*作品が完成し、提出されていることが条件。) 行動の観察 生徒の自己評価	デザインシート点検 作品の評価 (*作品が完成し、提出されていることが条件。) 行動の観察 生徒の自己評価	デザインシート点検 作品の評価 (*作品が完成し、提出されていることが条件。) 行動の観察 生徒の自己評価		
占 め る 割 合	30%	30%	40%		
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)				単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
前期 後期	オリエンテーション	○			a. d. 工芸への関心・意欲・態度を養う	a.d.行動の観察
	木材工芸 「ウッドクロック」	○	◎	○	a. b. 発想や構想の能力 c. 創造的な技能 d. 表現と技術、材料と技術の関係について理解できたか	a.b.デザインシート点検 c.作品の評価 d.生徒の自己評価
	編組工芸「籐細工」	○	◎	○	a. b. 発想や構想の能力 c. d. 材料の特性や基本組、用具の使い方を理解し、美しい表現ができたか	a.b.デザインシート点検 c.d.作品の評価
	陶芸「マグカップ・小皿」	○	◎	○	a. 製作工程を理解できたか b. 発想や構想の能力 c. 成形の美しさが表現できたか d. 生活と陶磁器との関わりについての理解できたか	a.行動の観察 b.デザインシート点検 c.作品の評価 d.生徒の自己評価
	染色 「ハンカチの染色」	○	◎	○	a. 製作工程を理解できたか b 発想や構想の能力 c. d. 材料の特性を理解し、デザインの美しさと形態の美しさが表現できたか	a.行動の観察 b.デザインシート点検 c.d.作品の評価
	一年のまとめ	○			a. d. 工芸への関心・意欲・態度を養う	a.d.行動の観察